

キャラクター名
導ヶ崎 奏

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ブラックドッグ		ワークス	格闘家	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	15	性別	女
覚醒	素体	衝動	解放	初期侵食率	60	%
出自	介錯人一族の末裔	経験	人の形をしたモノ	邂逅	音楽	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	2	1	3			6	行動値	14
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	10
精神	4	0	0			4	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	19	22	射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	4	2	調達	1	
運転:			芸術: お琴	1		知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
伝説の木刀・素殴り	白兵	6r+49	19	34		7+19+8
	白兵	6r+55				
グロリアス・クリムゾン	白兵	6r+48	1	5		
マルボン100↓	白兵	6r+44		39		+4d 10

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
光輝の衣			2	4	

所持品	
Sランク: クレイモア	フォーマル
思い出の一品: 琴の爪	[魂を震わす歌]
→ブランクセット指定	[最強の二人]
伝説の木刀	ヴォーパルソード
→ネームド	
→ヒストリー	覚悟のさらし
→ウェポンケース	
コネ: マスメディア	
→パトロン (初期侵食+2) *3	
[喧嘩の鬼]	
老人用スマホ	

合計装甲: 0 合計回避: 2

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
遺産継承者	P	N		
だあく	Pおとこのこ	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 34 残り財産P: 4+6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ゲットダウン	1	2	リアクション	-	-	白兵/射撃		
効果: 組み合わせた判定でドッジ可能								
マグネットフォース	1	2	オート	至近	-	-		
効果: カバーリングを行う								
紫: 運命の切り替え	2	4 (4)	オート	視界	単体	-		
効果: 代行ドッジ (蛇王取得初期+8)								
ハードワイヤード	5	(4)	常時	-	-	-		
効果: バトルマニユール*5								
武芸の達人	4	(4)	常時	-	-	-		
効果: 白兵達成値Lv*3								
メモリー: 斬首した人たち	1							
効果:								
リフレックス: ブラックドッグ	2	2						
効果:								
天上からの誘い	3	3	インシテグ				120	
効果: R間達成値+Lv*5								
朧の旋風	1	10	リアクション				100	
効果: 行動権獲得、HP-10								
ロケットピア	1	4	セットアップ	至近	自身	-		
効果: 行動0、シーン内任意の場所に移動								
雷神の降臨	3	6	セットアップ	至近	自身	自動	100	
効果: R間攻撃の攻撃力+Lv*5、R間行動0								
バリアクラッカー	2	4	Xジャー	至近	自身	白兵/射撃	80	
効果: ガード装甲無視付与								
コンバットシステム: 白兵	1	3	Xジャー			白兵		
効果: ダイス+Lv+1								

リビルド1回目
コードネームと称されるもの→"鉛細工の冠"《キャンディーズクラウン》
正式なコードネーム→["継ぎし名は"サクセサー・オブ] 山田浅右衛門吉奏 (やまだあさえもんよしかな)
「夢幻が一門、導ヶ崎。つむぐは一片、死出の調べ。黄泉への渡し、浅右衛門導奏が奏じ仕る」

——それが"普通"だった——
——私の"日常"だった——
——狭い"世界"に生きていた——

生きること、死ぬことも、私には何の喜びも悲しみもない。
ただ、「あった」。
お役目のために生かされて、お役目のために技を磨いた。
それが、一族のものとして生まれた義務。それが私の——全て。
けれど、違った。

介錯人を租にもつ導ヶ崎一族の末裔。時代を経て首切り役人の職はずたれたものの、現在一族は脱走兵の処刑を生業として生計を立てている。その役目を請け負うことにより、人体の電気信号による伝達速度をはやめる生体改造の技術を取得し、瞬間的な介錯を行えるようになりながら。二度と不要と断じられぬよう、それがあふるべき姿から離れていると知りながら。
そして、継承者は改造とともに刑の執行を滞りなく行うため、情にほだされぬよう一切の感情を排除して育てられる。それはさながら人の形をした獄卒のごとく、無情に効率的に首をはねていけるように。
その一族の末子として生を受けた奏は一族の目から見て健やかに成長していった。風のごとく揺らされずに首をはねる様は、名を受け継ぐにたる導ヶ崎の継承者として不足がなかった。また、技量も歴代随一の技量を持っていた。木刀にての薄皮残し、秘伝とされるそれをも修めるほどに。

